

科目名	メディア研究2						年度	2026	
英語科目名	Media Studies 2						学期	後期	
学科・学年	マンガ・アニメーション科 キャラクターデザインコース 1年次	必/選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	講義+演習
担当教員	末永和也 武藤敬子		教員の 実務経験	有	実務経験の職種		末永(イラストレーター、グラフィックデザイナー)/武藤(グラフィックデザイナー)		

**【科目の目的】**  
就職活動のための自己プロデュース能力を身につける

**【科目の概要】**  
様々なメディアを研究しながら、それを用いて自分のアピールをする準備をする。

**【到達目標】**  
Webポートフォリオ、印刷用ポートフォリオを制作し、自己プロデュースを行えるようにする。

**【授業の注意点】**  
課題提出締め切り日を厳守してください。社会への移行を前提としたマナーで授業に参加してください。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	Webポートフォリオを制作し、実際に自身の就職活動に活用することができる		Webポートフォリオを制作できる		Webポートフォリオを制作できない
到達目標 B	印刷用ポートフォリオを制作し、実際に自身の就職活動に活用することができる		印刷用ポートフォリオを制作できる		印刷用ポートフォリオを制作できない
到達目標 C	自己プロデュースを行い、実際に自身の就職活動に活用することができる		自己プロデュースを行うことができる		自己プロデュースを行うことができない
到達目標 D					
到達目標 E					

**【教科書】**  
筆記用具、ノート、PC

**【参考資料】**  
参考書・参考資料等は授業中に指示する。

**【成績の評価方法・評価基準】**  
作品提出および授業態度。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		メディア研究2			年度	2026	
英語表記		Media Studies 2			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	DTPについて	自己アピール能力の向上	1	DTP基礎、フォント	DIP基礎スキル	3	
2	DTPについて	自己アピール能力の向上	1	グッズ販促バナー制作	グッズ販促スキル	3	
3	フォトレタッチについて	自己プロデュース能力の向上	1	フォトレタッチ	フォトレタッチスキル	3	
4	フォトレタッチについて	自己プロデュース能力の向上	1	フォトレタッチ	フォトレタッチスキル	3	
5	フォトレタッチについて	自己プロデュース能力の向上	1	フォトレタッチ	フォトレタッチスキル	3	
6	プレゼンテーションについて	自己プロデュース能力の向上	1	プレゼンテーション	プレゼンテーションスキル	3	
7	ポートフォリオについて	ポートフォリオスキルの向上	1	ポートフォリオのための素材集め	ポートフォリオスキル	3	
8	ポートフォリオについて	ポートフォリオスキルの向上	1	ポートフォリオの企画	ポートフォリオスキル	3	
9	ポートフォリオについて	ポートフォリオスキルの向上	1	ポートフォリオの台割制作	ポートフォリオスキル	3	
10	ポートフォリオについて	ポートフォリオスキルの向上	1	ポートフォリオの表紙制作	ポートフォリオスキル	3	
11	ポートフォリオについて	ポートフォリオスキルの向上	1	ポートフォリオの表紙制作	ポートフォリオスキル	3	
12	ポートフォリオについて	ポートフォリオスキルの向上	1	ポートフォリオのプロフィールページ	ポートフォリオスキル	3	
13	ポートフォリオについて	ポートフォリオスキルの向上	1	ポートフォリオの見開きレイアウト	ポートフォリオスキル	3	
14	ポートフォリオについて	ポートフォリオスキルの向上	1	Webポートフォリオ制作(vivivit)	ポートフォリオスキル	3	
15	ポートフォリオについて	ポートフォリオスキルの向上	1	ポートフォリオプレゼンテーション	ポートフォリオスキル	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	メディア研究2							年度	2026
英語科目名	Media Studies 2							学期	後期
学科・学年	マンガ・アニメーション科 マンガコース・アニメーションコース 1年次	必/選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	講義+演習
担当教員	井上篤史		教員の実務経験	有	実務経験の職種	マンガ制作、スクリプトドクター			

**【科目の目的】**

本授業では、作品を数多く鑑賞することで、批判的思考を身につけることを目的とします。人間の十代は、それまでにない複雑な思考ができるようになる過程です。映像作品は目で観るだけでなく、観た者の脳内を照らします。良い作品はいつまでも心に残り続けるでしょう。なぜそのようなことが可能なのか、その理解を目的とします。

**【科目の概要】**

個人的な映像作品制作に必要な技法や知識を学び、創造性や表現力を養います。特に最新の作品の鑑賞を通して、新しい感性を涵養します。

**【到達目標】**

作品制作に必要な技法や知識を身に付け、創造性や表現力を養うことができます。また、作品を分析することで、自分自身の作品制作に役立てることができます。これにより、より独創的で高品質な作品制作を目指します。

**【授業の注意点】**

日本語でレポートをまとめるため、最低限の文章力が必要になります。最低でも200字以上は記述して提出してください。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	クリエイティブな問題解決能力を持ち、柔軟に対応する能力を身につけ、制作活動に活かせる		クリエイティブな問題解決能力を持ち、柔軟に対応する能力を身につける		クリエイティブな問題解決能力を持ち、柔軟に対応する能力が不足している
到達目標 B	作品をポートフォリオとしてまとめ、自己ブランディングを行うことができる		自己ブランディングを行うことができ、就職に向けて準備を進める		自己ブランディングを行うことができない
到達目標 C	プロジェクトの進行状況を把握、タスクを効率的に遂行する能力を身につけ、制作に応用できる		プロジェクトの進行状況を把握、タスクを効率的に遂行する能力を身につけ、制作に応用できる		プロジェクトの進行状況を把握、タスクを効率的に遂行する能力が十分ではない
到達目標 D					
到達目標 E					

**【教科書】**

筆記用具、ノート、PC

**【参考資料】**

参考書・参考資料等は授業中に指示する。

**【成績の評価方法・評価基準】**

作品提出および授業態度。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		メディア研究2			年度	2026
英語表記		Media Studies 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	3D制作の手順	1 3D制作手順	3D制作手順を理解する	3	
2	3Dアニメ制作とは	3Dアニメ制作手法	1 3D制作手法	3Dでの制作手法を理解する	3	
3	3Dアニメ制作ソフトについて	3Dソフトの種類と特徴	1 3Dソフトの種類と特徴	3D制作ソフトの種類と特徴を理解する	3	
4	3Dモデリング	モデリングを行う	1 モデリング	3Dモデリングできる	3	
5	3Dモデリングプレビュー	モデリング後のプレビューを行う	1 プレビュー	モデリング後のプレビューができる	3	
6	3Dレンダリング	モデリング後にレンダリングする	1 レンダリング	レンダリングできる	3	
7	3D制作補足と復習	前回までの復習と不足を確認	1 復習と補足	復習と不足部分が把握できる	3	
8	3D制作スケジュール見積	3D制作のスケジュール見積を立てる	1 スケジュール立案	3D制作スケジュールを立案できる	3	
9	3Dレイアウト制作	3Dレイアウト制作	1 レイアウト制作	3Dレイアウトが制作できる	3	
10	3Dレイアウト完成	3Dレイアウト完成	1 レイアウト完成	3Dレイアウトが完成できる	3	
11	3Dレイアウト書き出し	3Dレイアウトを書き出す	1 レイアウト書き出し	3Dレイアウトを書き出すことができる	3	
12	他ソフトとの連携	他のアニメ制作ツールと連携して使う	1 他ソフトとの連携	3D制作を他のアニメ制作ソフトと連携できる	3	
13	3Dレイアウト課題制作	3Dレイアウト課題制作	1 3Dレイアウト課題制作	3Dレイアウトの課題が制作できる	3	
14	3Dレイアウト課題提出	3Dレイアウト課題を完成、書き出す	1 3Dレイアウト書き出し	3Dレイアウトの課題を完成させ提出納品できる	3	
15	3D制作まとめ	3D制作のまとめ補足	1 まとめと補足	3D制作の振り返りと補足を把握できる	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他  
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等